

第5回 UMECO祭り(映像まつり)開催

今年の「UMECO祭り」は「コロナ禍に負けない！市民力」をテーマに、オンラインで開催します。皆さんに楽しんでいただけるよう、大きく3つの企画を用意しています。

市民活動団体紹介ビデオ

約30の参加団体による、動画・メッセージによる活動紹介です。団体に入って活動したい方はUMECO祭り事務局までお問い合わせください。

つながるビデオ

参加団体と協賛企業によるリレー演奏・合唱が楽しめます。曲目は、小田原といえばこの歌！「おさるのかごや」。お楽しみに!!

おまつりライブ

参加団体によるZoomライブです。11月29日(日)にお顔を合わせ、「小田原の魅力」を皆さんで語りましょう。(ご参加は登録済みの市民活動団体のみになります。)



小田原市市民活動応援補助金交付事業の募集開始

市では市民活動を応援するため、補助金交付団体を募集しています。市民活動を支援しているUMECOが窓口です。また、皆様からの寄付金を財源としたUMECO市民活動応援補助金の交付団体もあわせて募集します。

募集期間：令和2年11月30日(月)まで

※但し、10/5(月)、11/2(月)はUMECO休館日です。提出日時については事前にご連絡ください。

対象団体：小田原市を中心に市民活動を行い、今後も継続する見込みの3人以上で構成する営利を目的としない団体

対象事業：地域社会が抱える課題の解決に向けて団体が取り組む事業

応募方法：UMECO窓口に直接

※詳しくはUMECOホームページまたは、UMECO、地域政策課、市内公共施設で配布している「令和3年度小田原市市民活動応援補助金応募の手引き」をご覧ください。

HP：http://umeco.info/

コロナ禍で新たな活動に挑戦している市民活動団体を紹介！



認定NPO法人 小田原なぎさ会

私たちは「精神の障害など、いろいろな障害を持つ皆さんの自立支援活動」をしています。①施設の設置・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の3本柱です。

長期化しているコロナ禍の中、当法人の活動もいろいろな影響を受けています。特に、政府が緊急事態宣言を発する中、運営施設「小田原なぎさ作業所」の開所継続の判断は大きなリスクを伴うものでした。利用者さん(障害を持つ通所者)の特性などを深く考えた結果、こんな時こそ安定した生活リズムや居場所の確保が最も大切と判断し、法人の責任の下に開所継続を決定しました。考えられる限りのウイルス感染拡大防止の対策をうちながら、1日も休むことなく開所を継続しています。

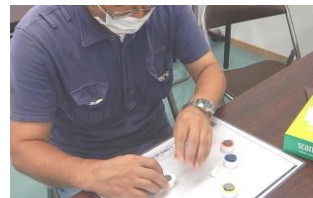
また、利用者さんの日常的な生産活動である受託作業が激減するという事態にも陥りました(タオル折りやチラシ折り作業は委託ゼロの日々が続く)。このような困難の中、作業所開所21年目にして初めてとなる自主製品『エコマグネット』を急遽企画検討し、短期間での試作を重ねて、な

んとか製作開始にこぎつけることができました。これで、利用者さんたちの作業を確保することができるようになりました。このエコマグネットとは、利用者さんたちが主体となって自主的に活動している「エコキャップ活動」で集めたキャップの一部を活用した環境に優しいシンプルなデコレーションマグネットです。ご関心をお持ちの方は、是非当法人までお気軽にお問い合わせ願います。(文：理事長 乾 恒雄さん)

完成したエコマグネット



エコマグネット製作指導の様子



エコマグネット製作挑戦中の利用者さん

市民活動入門講座報告

去る9月12日(土)にUMECOにて市民活動入門講座「そうだ。今こそ市民力!!」を行いました。当日はコロナ禍の中、安全性を配慮したうえで、多くの方が参加され、市民活動への理解を深められました。今回の講座でスポットを当ててお話のあったSDGsについて、ここでご紹介します。本講座では、SDGsを実践されている市民活動団体「バリアフリーネットワークおだわら」と「認定NPO法人 小田原なぎさ会」の活動発表もありました。

市民活動とSDGs

SDGsが定める解決すべき問題は、どれも社会に複雑に入り組んだ困難な問題ばかりです。だからこそ市民、企業、行政が手を取り合う「協働」の仕組みが目標達成には欠かせません。大きな話に思えて、「私にできることなんて…」とありませんか？これらの問題は私たちの身近にもあります。まずは身の回りに困っている人はいないか、地球環境の負担になっていることはないか意識して探してみましょう。それがボランティア、市民活動、そしてSDGs達成の第一歩になるのです。

UMECOをご利用の皆さまへ

おだわら市民交流センター
UMECOは、令和2年8月にバリアフリー型風水害避難所及び災害時の帰宅困難者避難場所に指定されました。

風水害発生時または災害発生時に避難場所の開設が決定されましたら、準備のため事前に貸館業務の利用を中止いたします。また、避難場所が開設された場合には状況により一定期間利用ができない場合もありますので、利用の可否については天候の回復後、電話でご確認ください。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



UMECOのアマビエちゃん

新型コロナウイルス(疫病)退散の願いを込めて、UMECO登録団体「絢布の会」の皆さんが手作りのアマビエちゃんを寄付していただきました。UMECO受付で、皆さんをお出迎えしています。



SDGs、知ってますか？

SDGsとは、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

SDGs 17の目標

～「誰も置き去りにしない」世界を目指して～

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくり
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう



連載こらむ

Part3 寄せる波は変わらない

NPO法人
小田原ガイド協会
高橋絹代さん

八月末、御幸ヶ浜に行ってみた。トワエモアの『誰もいない海』の通り、今年はコロナ禍で海水浴場も開かれず、秋の風情を漂わせた寂しい海であった。御幸ヶ浜近くで生まれ育って“うん”十年。幼き頃に想いを馳せた。当時の遊び場は道端と浜であった。砂浜に石を並べて家の間取りを作る。玄関や茶の間を造り、憧れの子も部屋を作った。片隅には砂のグランドピアノを作り、玄関から入ってくる友達を砂の器でもてなした。おままごとである。夏。水着にタオル一枚肩にかけ、裸足で10円握りしめ海へ。茶店が何軒か並び、砂浜は今よりずっと長く、太陽に焼かれた砂はやけどしように熱い。各茶店には熱い砂を避けるため、波打ち際まで板が渡してあり、その上を海まで走った。波の先はすぐに深くなっているので、絶対波の奥には行ってはならぬの約束を守り、波打ち際でキャーキャーと波に乗って遊んだ。こんなに海の近くに育ってろくに泳げないのはそのせいである。体が冷えてくると焼けた砂に穴を掘って暖まる。また、冷えた体に一本5円のおでん。おいしかったなあ…想い出は遠くなるほどなつかしく、うつくしい。

追記：私が育った時代は「御幸ヶ浜」です。こだわって「御幸ヶ浜」と書かせていただきました。



いちぜんめしや や お き

一膳飯屋 八起

おだわら市民交流センターUMECO隣
0465-24-5775
11:00～22:30(定休日 月曜日)
★お食事から宴会までご予算ご相談ください

前田商店
山田原
おひもの
小田原市早川2-4-3
0465-23-4741

日帰り天然温泉
万葉の湯
小田原お堀端
JR小田原駅東口徒歩1分 TEL.0465-23-1126
24時間営業/年中無休 営業時間 14:20～22:00 http://www.manyo.co.jp/

私たちは
市民活動を
応援しています

そうだ… お料理
ふじさちん
0120-39-6933
TEL.0463-54-9388 FAX.0463-53-0062

Flower
花ふじ
0465-32-1087
http://www.f-hanafuji.com
小田原市多古 329

居酒屋
潮茗丸
USHIWAKAMARU
小田原市栄町1-4-4 Nakaniwaビル 2F
TEL.0465-22-8855 定休日:火曜日
営業時間 11:30～23:00(UMECOより徒歩1分)